

事業番号	事務事業名	文化財保護臨時管理費	所管課名	生涯学習課	令和 2 年度課長名	黒瀬 豊
06452	政策名	3 創造豊かな教育・文化の里づくり	係名	文化係	担当者・シート作成者	日下 隆春
	施策名	35 文化財と伝統行事の継承	根拠法令等	文化財保護法・鏡野町文化財保護条例・鏡野町文化財保護条例施行規則		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input type="checkbox"/> 単年度繰返し <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (H30 年度~ R3 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	平成18年度に発掘調査を実施した一番丁場遺跡と29年度に実施した目崎城跡の出土遺物の整理作業を行うため、業者委託する。業者と本年度の業務範囲の確認を行い、金額を決定して委託契約を締結する。業者からの依頼があれば、作業の進め方等についての打ち合わせを行ったり、進捗状況の確認を行う。業務完了後は、検査を行い、支払業務を行う。	平成18年度以来、出土遺物の整理作業が未着手であったが、報告書刊行のため、作業を進める必要性があった。しかし、専門的な知識や技術を要するため、作業員の雇用は困難で、業者委託で実施することとなった。

2. 事務事業の対象・意図・活動・成果指標

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	30 年度	1 年度	2 年度	3 年度	4 年度
ア 一番丁場遺跡出土遺物	→ ア 一番丁場遺跡出土遺物の量	箱	見込 実績	30 30	30 30	30 30	30	
イ	→ イ		見込 実績					
ウ	→ ウ		見込 実績					

②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	30 年度	1 年度	2 年度	3 年度	4 年度
ア 出土遺物の洗浄	→ ア 洗浄した出土遺物の量	箱	目標 実績 達成率	40 40 100.0%	40 40 100.0%	40 30 75.0%	30	#DIV/0!
イ 出土遺物の注記	→ イ 注記した出土遺物の量	箱	目標 実績 達成率	40 40 100.0%	40 40 100.0%	40 30 75.0%	30	#DIV/0!
ウ 出土遺物の接合	→ ウ 接合した出土遺物の量	箱	目標 実績 達成率	40 40 100.0%	40 40 100.0%	40 30 75.0%	30	#DIV/0!

③主な活動内容	⑥活動指標	単位	区分	30 年度	1 年度	2 年度	3 年度	4 年度
ア 打合せ	→ ア 打合せの回数	回	目標 実績 達成率	3 2 66.7%	3 3 100.0%	3 3 100.0%	3	#DIV/0!
イ 進捗状況の確認	→ イ 進捗状況の確認数	回	目標 実績 達成率	2 0 0.0%	2 3 150.0%	2 2 100.0%	2	#DIV/0!
ウ 現地の確認	→ ウ 現地確認の数	回	目標 実績 達成率	1 0 0.0%	2 2 100.0%	1 0 0.0%	1	#DIV/0!

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01 一般会計	款 10 教育費	項 06 社会教育費	目 04 文化財保護費	大事業 01	中事業 03	予算上の事業名 文化財保護臨時管理費	事業番号 06452									
予算(千円)	30 年度 実績	1 年度 実績	2 年度 実績	3 年度 見込	4 年度 見込	前年比	決算(千円)	30 年度 実績	1 年度 実績	2 年度 実績	3 年度 見込	4 年度 見込	前年比				
国庫支出金							国庫支出金										
県支出金							県支出金										
町債							町債										
その他特財							その他特財										
一般財源	4,000	3,019	2,000	2,000		-1,019	一般財源	3,996	3,018	2,000	2,000		-1,018				
合計	4,000	3,019	2,000	2,000	0	-1,019	合計(A)	4,064	3,123	2,084	2,084	0	-1,039				
財源名称	従事正職員人数							1	1	1	1						
	延べ業務事務時間							20	30	25	25		-5				
	人件費計(千円)(B)							68	105	84	84	0	-21				
最終予算額		2,000 千円	予算執行率		100.0%	トータルコスト(A+B)		4,064	3,123	2,084	2,084	0	-1,039				
主な支出事業内容(予算)	委託料						2,000 千円		主な支出事業内容(決算)	委託料						2,000 千円	

事業番号	06452	事務事業名	文化財保護臨時管理費	所管課名	生涯学習課
------	-------	-------	------------	------	-------

4. 事務事業の環境変化・住民意見等

① 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? 出土遺物は一部を除いて洗浄が行われておらず、発掘調査終了から10年以上が経過しており、合併後の鏡野町としては大規模な調査にも関わらず、その成果が公表されていないことを考慮すれば、できるだけ早く取り組む必要があったが、ここ数年は予算計上できたことにより、少しずつ作業が進んでいる
② この事務事業に関するこれまでの改革・改善の取り組み経緯 必要な業務を精査し、新規事業提案を行い、採用されたことにより、成果が現れている。
③ この事務事業に対して、関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が、どの程度寄せられているか? 文化庁・県文化財課からは、発掘調査の終了した埋蔵文化財はできるだけ早く報告書を刊行しなければならないとの指導がある。鏡野町は、合併前から報告書未発刊の埋蔵文化財調査が多いため、県や周辺市町村からの埋蔵文化財行政に対する評価は良好とはいえない。

5. 事業評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性(この事務事業の目的は町の政策体系に結びついているか? 意図することが結果に結びついているか?)		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	理由 説明	現段階では発掘調査が終了したのみで、遺跡の評価はされていない。整理作業を行い、報告書を刊行することでようやく遺跡の性格を把握し、公開・保存につなげ、町の歴史として残すことができるため、町の政策体系につながっている。
	② 町が関与する妥当性(この事業は町が行わなければならないものか? 税金を投入して行うべき事業か? 住民や地域民間等に任せることはできないか?)		
有効性 評価	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	理由 説明	埋蔵文化財発掘調査業務は、行政が主体となって行わなければならない。原因者が経費を負担する場合もあるが、発掘調査を行う際に、原因者と整理作業・報告書作成までの費用負担の話はできていない上、調査後相当の年数が経過しているため、町が負担して行うべきである。
	③ 対象・意図の妥当性(事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す余地はないか?)		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である	理由 説明	本業務は、埋蔵文化財調査業務の中で不可欠な業務であり、町の人員体制等を考慮しても現在の業務の進め方が妥当と思われる。
効率性 評価	④ 成果の向上余地(成果向上の余地はないか? 成果を向上させる有効な手段はないか? 何が原因で成果が向上しないのか?)		
	<input type="checkbox"/> 向上余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 目標水準に達している	理由 説明	現在の方法が妥当と思われる。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響(事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無は? 目的を達成するには、この事務事業以外に方法はないか?)		
公平性 評価	<input type="checkbox"/> 影響がない <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある	理由 説明	少なくとも整理作業が終了し、報告書刊行までを一つの業務として進めなければ、これまで行ってきた業務はすべて無駄になる。
	⑥ 方法・手段の改善余地(やり方等を改善して成果をより向上させることはできないか?)		
	<input type="checkbox"/> 改善余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 改善余地がない	理由 説明	現在の方法が望ましい。
公平性 評価	⑦ 事業費の削減余地(成果を下げずに仕様や工法の見直し、住民の協力などで事業費を削減できないか?)		
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由 説明	町で直接整理作業員を雇用して進めていく方法もあるが、作業員の技術の向上、整理作業の場所の確保、人件費等を考慮すれば、やはり業者委託が望ましく、したがって削減余地はない。
公平性 評価	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地(成果を下げずにやり方の見直しや民間委託などでコスト削減できないか?)		
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由 説明	業者委託で行っているため、人件費はほとんどかからない
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地(事業内容が「対象」の全体でなく、一部の受益者に偏っていないか? 受益者負担は公平・公正となっているか?)		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である	理由 説明	町が実施した発掘調査であるため、公平性は保たれる。

6. 事業評価の総括と今後の方向性

① 上記の評価結果		② 全体総括(振り返り・成果・反省点)・評価結果の根拠																							
A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり	専門的な業務であるため、他に方法がない。できればもっと早く着手すべきであった。□																							
B 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
③ 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		④ 担当課としての事業の方針																							
<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事業完了	今後の改革改善案 整理作業が終了したら、引き続き報告書作成業務を行うことが必要		<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○			低下			
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持		○																						
	低下																								
⑤ 改革改善案を実施する上で解決すべき課題 予算の確保		(廃止・休止・事業完了の場合は記入不要)																							